

## News & Information

ソニー教育財団「ソニー幼児教育支援プログラム」  
全国 146 園の幼稚園・保育所・認定こども園より選ばれた最優秀園

### 研究成果を発表する「最優秀園実践発表会」開催

6月1日(土) 奈良市立鶴舞こども園(奈良県)

公開保育・研究発表などを通じ、保育関係者に向けて主題「科学する心を育てる」保育実践を公開

記念講演：白梅学園大学 名誉教授 無藤隆氏

後援：文部科学省、厚生労働省 他

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 盛田昌夫)は、2018 年度に「ソニー幼児教育支援プログラム」で「最優秀園」に選ばれた奈良市立鶴舞こども園(奈良県、園長:出原和美)で、「最優秀園実践発表会」を開催いたします。

「ソニー幼児教育支援プログラム」は、乳幼児期の教育に関する研究を推進したソニー創業者 井深 大の考えを受け継ぎ、2002 年から続けている教育助成です。「科学する心を育てる」を主題に、3 歳から 5 歳児の保育実践とその考察に基づく今後の方向性を募集しています。2018 年度は、過去最多の 146 園よりご応募いただきました。

今回、「実践発表会」を行う 鶴舞こども園 は、本プログラムの審査委員長である小泉 英明氏(株式会社日立製作所 名誉フェロー)ら 5 氏による審査や、現地調査を経て、「最優秀園」を受賞しました。子どもたちの「豊かな感性」と「創造性の芽生え」を育む取り組みや成果について、公開保育や研究発表などを通じ、保育者や小・中学校の先生方、保育を学ぶ学生を中心とする保育・教育関係者のみなさまにご紹介いたします。



### 最優秀園実践発表会(公開保育・研究発表) 開催概要

奈良市立鶴舞こども園(奈良県)

研究主題： 「科学する心を育てる」 創造的なひらめきから「いい」をかたちづくる  
～「いい」こと考えたーきっと「いい」はずー「いい」とはこれだ～

開催日時： 2019年 6月 1日(土) 9:30～16:30

会場： 公開保育 奈良市立鶴舞こども園 奈良市鶴舞東町 2 番地 1 号 TEL/FAX: 0742-45-4753  
全体会 奈良市立鶴舞小学校 奈良市鶴舞東町 2 番地 1 号

時程： 【公開保育】 9:30～10:50

鶴舞小学校へ移動

【全体会・研究発表】 11:10～11:50

【研究協議】 13:00～14:30

【記念講演】 14:50～16:20

記念講演： 白梅学園大学 名誉教授 無藤隆氏

「子どものひらめきを活かす幼児教育ー子どもの姿ベースの保育とは」

参加費： 無料



※ 開催についての詳細は、ホームページに掲載の「二次案内」をご覧ください。園に直接お問い合わせください。

[http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/jissen/pdf/2019\\_tsurumai\\_2nd.pdf](http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/jissen/pdf/2019_tsurumai_2nd.pdf)

※ 鶴舞こども園の「最優秀園論文」の全文はホームページでお読みいただけます。[http://www.sony-](http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2018_pre_tsurumai.pdf)

[ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2018\\_pre\\_tsurumai.pdf](http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2018_pre_tsurumai.pdf)

## 「ソニー幼児教育支援プログラム」最優秀園 論文

### 奈良市立鶴舞こども園(奈良県)

論文テーマ: 創造的なひらめきから「いい」をかたちづくる

「いい」こと考えた—きっと「いい」はず—「いい」とはこれだ

論文全文 ([http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2018\\_pre\\_tsurumai.pdf](http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2018_pre_tsurumai.pdf))

### 【審査委員による講評(抜粋)】

鶴舞こども園は、科学技術の進展によって、AI(人工知能)が人知の一部を超えたり、子どもたちを含む人間がバーチャル(仮想現実的)な世界に没頭したりするようになった現況を直視しました。そして、今こそ幼児期には、「豊かな感性」と「高い創造力」の育ちが大切であると感じて、子どもたちの「創造的なひらめき」(機械にはできない人間らしさ)に注目しました。特に、「よいもの」への憧れや追求心が「創造的なひらめき」の源泉であって、「科学する心を育てる」上での重要な出発点だと考えました。子どもの「いいを形作る過程」を明らかにしていくことは、従前にはない独創的な視点です。

## ■ ソニー幼児教育支援プログラムとは

「科学する心を育てる」を主題に、子どもの発想や保育者の熱意を活かし、子どもの姿を中心にした独自性のある保育実践と今後の方向性をまとめた論文を募集し、その実現のための支援を行っています。全国の幼稚園・保育所・認定こども園より、毎年100園以上ものご応募をいただいています。

審査委員長の小泉英明氏(株式会社日立製作所 名誉フェロー)をはじめとする各界の有識者により、予備審査、中間審査を経て、入選候補園に関しては現地調査も行います。

入選園は翌年、「最優秀園実践発表会」や「優秀園実践提案研究会」を開催。主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。また、論文の中から特色ある事例を選び、毎年『実践事例集』(冊子)を発行。さまざまな実践事例をホームページから検索することもでき、保育関係者の研修や研究の参考として活用されています。

ソニー幼児教育支援プログラム: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/preschool.html>

幼児教育 保育実践事例サイト: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>

## ■ソニー教育財団について

ソニーの創業者である井深 大は、戦後間もない日本において、科学技術の振興こそが国の発展に繋がると考え、次世代を担う子どもたちへの理科教育に多大な関心を抱いていました。日本初のトランジスタラジオを発売し、会社経営が軌道に乗り始めたのを機に、1959年「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。ソニーの教育助成活動の始まりです。

この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。その後、井深大の理念を引き継いだ教育助成活動は対象を中学校にも広げ、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。60年以上もの間、創造的で先進的な取り組みを行う全国の学校、先生方を支援してきました。

一方で、井深 大の関心は幼児教育にも広がり、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立しました。幼児期の豊かな感性と創造性の育成を目指し、2002年から幼稚園・保育所・認定こども園を対象にした「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始しました。2011年に「公益財団法人 ソニー教育財団」となり、幼児期から中学生までの「科学する心」を育むこと、「科学が好きな子ども」を育てることを柱にした教育助成を行っています。

教育助成の他、“自然に学ぶ”をテーマに探究する小・中学生対象の「科学の泉—子ども夢教室」、親子の絆を育む『「科学する心」を見つけようフォトコンテスト』など、未来を生きる子どもたちへのさまざまな支援活動を行っています。



ソニー創業者 井深大

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

公式ホームページ: <http://www.sony-ef.or.jp/>